

## 「全鍍連」 2024年 12月号 巻頭言

全鍍連 監事 二村 義博 (株)NIMURA 代表取締役社長)

「少子化を考える」



岸田前首相が唱えた「異次元の少子化対策」の中身はほぼほぼ子育て支援であった訳ですが、石破新政権では真の少子化対策は行われるのでしょうか。

全鍍連 監事を仰せつかっております株式会社NIMURA 二村義博です。

少子化が進行する中で、鍍金業界もその影響を避けることはできません。少子化は労働力の減少をもたらす、業界全体にさまざまな課題をもたらします。しかし、これを機に業界がどのように変革し、未来に向けてどのように進化していくかを考えることが重要です。

まず、少子化による労働力不足は、鍍金業界にとって大きな課題です。若年層の減少により、新たな人材の確保が難しくなり、熟練工の引退による技術の継承が困難になる可能性があります。この問題に対処するためには、業界全体での教育・訓練プログラムの強化が必要です。特に、若者に対する魅力的なキャリアパスの提示や、技術のデジタル化・自動化を進めることで、労働力の効率化を図ることが求められます。

次に、少子化は市場規模の縮小をもたらす可能性があります。人口減少に伴い、製品の需要が減少することが予想されます。これに対しては、新たな市場の開拓や、既存市場でのシェア拡大が重要です。特に、環境に配慮した製品や高付加価値製品の開発が求められます。これにより、国内外の市場で競争力を維持し、成長を続けることが可能となるでしょう。

さらに、少子化は社会全体の価値観やライフスタイルの変化をもたらします。これに対応するためには、業界全体での柔軟な対応が必要です。例えば、リモートワークの導入や、働き方改革を進めることで、労働環境の改善を図ることができます。また、技術革新を通じて、生産プロセスの効率化やコスト削減を実現することも重要です。

最後に、少子化がもたらす課題を乗り越えるためには、業界全体での協力が不可欠です。企業間の連携や情報共有を進めることで、共通の課題に対する効果的な対策を講じることができます。また、政府や自治体との連携を強化し、政策的な支援を受けることも重要であると考えます。

少子化が進行する中で、鍍金業界は多くの課題に直面しています。しかし、これを機に業界全体が変革し、未来に向けて進化するチャンスでもあります。労働力の確保、市場の開拓、技術革新、そして業界全体での協力を通じて、鍍金業界が新たな時代に向けて力強く歩むことを望みます。共に頑張ってください！